

## 家族の窓

Kazoku no Mado



2病棟  
大野健一様  
保護者  
大野ヤエ様

平成3年6月から入園させて頂いて、現在2病棟でお世話になっております大野健一の母です。生後十か月頃より息子の発達に不安を感じるようになったため県立子鹿園の江口先生の診察を受け、「進行性体幹機能障害」であると言われ、シヨックで気持ちの整理ができず、子供と一緒に死を考えたこともありましたが、

しかし本人はいつだって陽気で何でも進んで前向きに笑顔でチャレンジする子供で、その姿を見て、「こんなんでいいだめだ。我が子の為にもしっかりと支えて行かなければならない。」と決意し、それから子鹿園に親子入園し十八歳まではそこで過ごしました。本人の何でもしたい。行きたい。と希望する事は皆さんのご支援を頂きながら、健常者以上に県外・スポーツ大会・地域の行事等進んで積極的に参加し、全国身体障害者スポーツ大会にも出場でき、金メダルを2個も頂いたり、佐川ロードレース大会は初回から終了まで参加し県児童生徒表彰でもスポーツの部で表彰されたりと負けず嫌いで涙もろいが頑張って来ました、でもだんだん進行して何もできなくなり気管切開を進められた時私は来る時が来た。「オーケー」を出したところ、本人が怒って強く拒否し皆様の手を焼かせたものでした。しかし先生はじめ皆様の説得のおかげで本人も納得し、手術後は声を失いましたが、「食べる楽しみができ、苦しさも少なくなった。手術してよかった。」との事。私も嬉しかったです。

周りの方の助けもあり、又時折見せてくれる笑顔に励みに今やれる事を前向きに皆様のご支援を仰ぎながら歩んでいこうと思えます。最後になりましたが、これまで多くの皆様の励ましやお力添えを頂きました事に心より感謝申し上げます。また、ここ3年コロナで、職員の皆様、ご家庭の事、施設の事、大変ご苦労をおかけしております。本当にありがとうございます。感謝しかありません。これからもよろしくお願い申し上げます。

## 新年のご挨拶

社会福祉法人 土佐希望の家

理事長 門田 正坦



ご利用者の皆様、ご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、急激な円安などによる物価の高騰で、日常生活に大きな影響がありました。円安は少し戻りましたが、電気代など、庶民生活への影響は続きそうです。

新型コロナウイルスは、昨年後半から感染力の強いBA5により感染者が増えました。暮れからの第8波の一日も早い終息を願うばかりです。

さて、昨年は、当施設でも、二つの病棟でクラスターが発生し、6月の1病棟では、利用者6人、職員10人の感染が、9月の3病棟では、利用者34人、職員29人の感染が確認されました。

陽性の方のゾーニング(エリア分け)など、予め対応シミュレーションを準備していましたが、想定どおりならないことも多々あり、職員の臨機応変な対応とチームワークによりまして、1人も重症化することなく、また、他の病棟へ拡大することもなく、的確な対応ができたと考えています。

新型コロナウイルスは、変異を繰り返しています。ワクチン接種など、今後とも感染防止対策には万全を期してまいります。

昨年4月に「社会福祉法人幡多福祉会」との法人合併が成立し、合併後の法人名は、「社会福祉法人土佐希望の家」となりました。名称は土佐に統一した形ですが、合併後も両施設の事業は独立採算で継続する、いわゆる対等合併です。

4月以降、幡多の幹部会に土佐からも幹部職員が参加し、

## SARRAの詩

SARRAさんはほぼ毎日相談室へやってきて新しい詩ができたよ！と知らせてくれます。どの詩も素敵な詩ばかり。今回は2つ紹介します。

### 「空から」

そろそろ  
木さんも寒くなるから  
空から 真っ白な  
雪のマフラーを  
木さんに かけた  
ぬくい ぬきいと  
喜んでるみたい  
うわしい

### 「生まれた時は」

お腹に 赤ちゃんがいるときは  
可愛い可愛いいうたものの  
生まれたら 忙しくて  
そこまで 赤ちゃんの  
面倒がみらん  
あのころの 素直さは  
どこに 行ったの

最近ニュースで親が子どもに手をかけてしまう事件をニュースで見ると悲しい思いがする。この詩を書いたそうです。

移転改築や医師確保、給与の見直し、各種規定の統合、などについて協議を重ねています。

また、職員の合同研修についても、両施設の看護・生活支援部門が相互に行き来して、協議を重ねています。

幡多希望の家は、軟弱地盤が確認されており、南海トラフ地震への対応、施設の老朽化、狭隘化などから、移転改築が必要とされています。

このため、移転先の土地について、幡多地域の通所利用者の利便性も考慮し、宿毛市に限らず、四万十市も含めた広域での適地の情報収集に努めています。

51床の幡多と142床の土佐を合わせ193床の全国的にも最大規模の民間社会福祉法人となりました。合併による充実した組織体制により、スケールメリットも生かし、重症心身障害児者とそのご家族への支援の充実に取り組んでまいります。

コロナ禍で、保護者の皆様と直接お話ができる保護者会は中断しています。ご家族との面会は、対面面会が、第8波の感染拡大で窓越面会となり、ご不便をおかけしています。こうした中でも、保護者やご家族の皆さんとの意思疎通が大切であると考えていますので、不安に思うことや疑問な点などがありましたら、何なりとお問い合わせいただきますようお願いいたします。

本年が、ご利用者、ご家族の皆様にとって、いい年でありますように、ご祈念申し上げます。私からの新年のご挨拶といたします。

令和5年1月

## ご寄附 12月上旬時点

- 吉本正之 様
  - 上村しずか 様
  - 松田貞美 様
  - 長 博雪 様
  - 宗石陽子 様
  - 植松三津子 様
  - 福原公二 様
  - 国際ソロブチミスト 高知100 様
- 職員一同お礼申し上げます。

### 編集後記

早いもので新年を迎えました。今年(卯年)は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」や跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

12月に新型コロナウイルス感染拡大のため高知県の警戒レベルが上がりました。引き続き感染対策に留意しながら、利用者の皆さんと一緒に日々を穏やかに過ごし、「飛躍」「向上」を目指した支援を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 当センターにおける 新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験して

看護生活支援部長 武政 友之

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和元年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました。

令和4年度に入っても新型コロナウイルス感染症の状況は変わらず、第6波から現在第8波が猛威を振るっており、当センターでは、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底に向け、今年4月の前半(4月~9月)は院内感染対策委員会を計21回開催し、感染防止対策の徹底や見直しなどに取り組みでまいりました。

しかし、こうした状況であっても新型コロナウイルスの第6波にて、1病棟で当センター初となるクラスターが発生し、利用者6人と職員10人が陽性となりました。第7波では、3病棟で2回目のクラスターが発生し、BA株の変異型であるBA.4株又はBA.5株の非常に強い感染力の影響などから、利用者は34人と職員29人が陽性となりました。



病棟でのクラスター発生時は、通所職員の応援等が必要になったことから、通所が閉所となり通所のご利用者やご家族の皆様、他事業所の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけすることとなりました。院内感染対策委員会のもと、医師(特に病棟担当医師)や看護師、生活支援員を中心に、組織全体で一丸となって対応し、ご利用者の皆様や職員の重症化や他の病棟等への感染拡大もなく、6月に発生した1病棟のクラスターは21日間で終結し、9月に発生した3病棟のクラスターは23日間で終息することができました。

令和4年度の後半は、新型コロナウイルスの第8波流行やインフルエンザなどの感染拡大も懸念され、第43回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会(令和4年11月17日開催)において、同協議会に所属する67施設中31施設でクラスター発生の報告が聞かれています。まだまだ予断を許さない状況が続くと思われ、今後も感染症発生時は院内感染対策委員会等を通じ、組織全体で一丸となり、適切かつ円滑な対応や対策に繋げてまいります。今後もしもご利用者やご家族の皆様のご理解とご協力のほど、何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 着任のご挨拶

医局 医師  
砥谷 真知



私は、自治医科大学を卒業後、高知県立中央病院・高知市民病院で初期研修を受けたのち、地域医療に従事してきました。その後一時高知医療センター代謝・内分泌科でも勤務しておりました。主に内科診療が中心でしたが、初期研修の頃から、地域医療に従事している間にも小児科診療は吉川清志先生の外来で学びました。そのご縁もあり2021年度から本院で勤務しております。

そして、長岡常雄先生のご指導を受けて発達外来を担当させて頂くことになりました。まだまだ勉強しなければいけないことが多いのですが、スタッフと共に精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 発達外来について

リハビリ科  
主任 谷本 愛裕美



当施設のリハビリでは、2016年から火曜日と木曜日の午後に発達外来を行っています。発達が進んでくると、発音が難しい、対人関係が苦手、手先や体の動かし方が不器用、落ち着かない、動きが多い、感覚が独特、などなど悩んでいる、3歳ころから上は中学生までの子どもたちが来院しています。子どもたちにとっては、苦手な部分を練習させられることが多いので「遊びながら」「楽しいこと」を基本にプログラムを考えています。今回は、私たちが今まで発達外来の中で経験・研修してきた、リハビリのベースになっていることを紹介します。

- ① **ほめるのは「できたら」ではなく、「している時から」「やめてほしくない行動をほめる」**  
↓すばらしい行動をほめがちですが地味に積み重ねている部分からほめると行動が変わります。
- ② **見えているものは「やっさい」と「一緒にそこで見えている道具は「これで遊んでいいよ」と語りかけているそうです。子ども**



土佐希望の家 創始者 山崎勲様  
2022年4月25日ご逝去されました。  
享年93歳。

社会福祉法人「土佐希望の家」は1970年(昭和45年)開所から数えて2020年には創設50周年を迎えました。創設までの道のりは様々な困難があり、祥子夫人と共に重症心身障害児やその家族に対する支援にご尽力されました。

今後も土佐希望の家を天国から見守って下さることを思います。  
職員利用者一同、謹んでお悔やみを申し上げます。



- ③ **否定の注意は、どうしていいかわからないので効果が少ない**  
↓「廊下を走らない」というとつさにでして「もう声かけから廊下を歩きます」の声かけに変えるために苦労しました。でもこの言いかえを考えると、次の④の反射的に大きな声を出さない練習にもなります。
  - ④ **ほめるは1秒以内(0.5秒以内)、怒るは3秒後(正確には6秒後)**  
↓怒るエネルギーは3秒でピーク、反射的に大きな声を出さないように時間をおくことが大事ですが、大人には難しいのです。
  - ⑤ **特性はみんなにある、それが強い弱いかわからない**  
↓特性と言われると定型発達以外にあてはまるように思いますが、みんなも持っている特徴です。私の一番強い特性は、「刺激が多くなると集中が切れる」こと、テレビを見る時にはクロスワードをしながら見ます。
- 発達外来のリハビリは「実際にリハビリしていること」よりも、大人側がベースを共有して環境を整えることの方が大きいように感じています。当重症心身障害児者施設の主なリハビリとはまた違った視点でリハビリを紹介できていたら幸いです。





**祭**  
みんな  
笑顔の  
お祭りだ!

# 祭 令和4年度 土佐希望の家祭 開催



希望の家祭 実行委員長  
生活支援員 早川 佐紀

今年も無事希望の家祭を開催することができました。テーマは「そうだーお祭りへ行こう2022」つなごう未来へ〜」

感染症対策のため、規模を縮小しての開催となりましたが、大成を収めることができました。

お祭りをモチーフとし、天井には提灯、会場の壁一面を法被型や提灯型に切った画用紙で飾り付けをしました。病棟利用者さんや通所利用者さんの手作りで、色合いや組み合わせなど、個性溢れる作品がたくさんできました。当日は音楽に合わせて踊ったり、くじ引きをしたり、映像で花火を見るなどお祭りを楽しみました。会場の中央に太鼓を準備し、利用者さんがバチをもって一緒に太鼓を叩きました。力強い太鼓の音色が会場に響き渡りました。たくさん笑顔で溢れていました。くじ引きでは、ジュースや靴下といった景品が用意されており、中には大当たりがありました。大当たりを狙うため、「どの紐を引っ張る？」と利用者さんと職員で相談している姿がみられました。いざ大当たりがでると「やったー!」と喜ぶ方や少し照れたような方もいらっしゃいました。

お祭りの最後には、全員で輪になり鳴子を鳴らしながら、よさこいを踊りました。音楽を通し、会場全体が一つになることができました。

感染症流行のため、面会・外出など外部との接触や交流が制限され、利用者さんへ多大なストレスがかかっていると思います。その中で、小規模ですが希望の家祭を開催することができ、たくさん笑顔を見ることができて本当にうれしかったです。

ありがとうございました。

ちよっといひ話

11月、急な体調の悪化で医療管理が必要になり、療養病棟の3病棟から医療病棟の2病棟に転棟したNさん。すると3病棟のKさんが相談室にやってきて「Nさんは(体調)どうやろ。2病棟で寂しい思いをしてないやろか。ちゃんとご飯は食べてるやろか。」と心配して下さっていました。

お話好きで子どものころから長い間、希望の家にいるNさんのことを心配しての言葉でした。「ご飯も食べ始めてだんだん元気になってきているようだよ。」とKさんに伝えると、「早く良くなったらいね!」と笑顔で嬉しそうに答えてくださいました。

そのことをNさんに話すと照れくさそうに笑っていました。

職員と利用者さん、職員間、保護者さん同士、利用者さん同士、様々な繋がりがあります。思いやりの形にはいろいろありますが、私以上に付き合ひの長いお二人の歴史を見たようで思わず心がほっこりしました。

お悔み

9月1日 1病棟東 古宮 守様 享年88歳  
 10月13日 2病棟東 竹崎 恵太様 享年39歳



故 古宮 守様

希望の家での生活で笑ったり怒ったりいろいろな表情を見せて下さいました。天国でも希望の家のみんなを笑顔で優しく見守ってください。

南国市 公益的 取り組み について

生活支援員副部長 濱田 美和

平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。

「地域における公益的な取組」とは、すべての社会福祉法人はその高い公益性にかんがみ「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うにあたっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない」という責務が課せられており、



告知用チラシ

地域の福祉ニーズを踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献が行われています。

土佐希望の家のある南国市でも「南国市社会福祉法人による公益的な取組連絡会(しゃこう連)」が発足し、12法人が連携し、地域課題対策グループと災害対策グループに別れ活動を行っています。

土佐希望の家は地域課題対策グループへ参加し、部会メンバーとともに社会福祉法人の強みを生かし多機能な地域食堂を展開しています。令和元年5月に「第1回地域食堂きぼうのれん」を土佐希望の家にて、令和2年1月に「第2回地域食堂きぼうのれん」を土佐清風園にて開催しました。ステージ、飲食、学習、レクリエーション、医療相談コーナーが設けられ地域の皆さんの参加で賑わいました。

第3回目については11月に開催された部会で令和5年5月20日に開催することを決定しました。詳細については部会で準備を進めているところですので。



地域食堂



相談ブース



学習支援



子ども遊び場



販売ブース

笑顔の輪





3  
病棟

3病棟では、クリスマスに向けて西棟では大きいトナカイとソリに乗ったサンタさんを、東棟では雪だるまを創りました。

西棟のサンタさんたちはみんなでたくさんの画用紙をちぎり、サンタさんとトナカイの形に貼っていきました。

東棟では雪だるまにキラキラ光るシールを貼って創る利用者さんや、自分の好きな色のペンで装飾したりと素敵な雪だるまを創りました。

完成した作品を見て早くクリスマスがこないかと楽しみにしている利用者さんやもう今年が終わるねとしみじみしている利用者さんがいました。

来年も素敵な1年になりますように、、、☆彡

(3病棟生活支援員 北岡 亜里沙委員)



通所事業所では2022年度の通所ロードレース大会を開催しました。今年ルールはいたってシンプル。施設の外周を走行して、自分の決めておいた予想タイムに近いタイムを出します。目指せピタリ賞!

本番では、利用者の皆さんも職員も仮装をして登場。盛り上がりました。ハロウィンも近かったため、さながら仮装パレードのようでした。「もっと早く歩いて～」という競争に燃える利用者さんや、歌を歌いながらのんびり散歩を楽しむ利用者さんもあり、皆さんそれぞれの楽しみ方ができたようです。結果はなんとびたり賞が1人!その後1秒差の方、2秒差の方と続く大接戦となりました!景品もあって盛り上がったロードレース大会、来年も開催したいですね!☆

(通所生活支援員 野口 朱音委員)



通所



1  
病棟

11月27日に誕生日会を行いました。本来なら全員で集まる場所でしたが、感染対策のため誕生日者のいる西病棟女性フロアで竹崎千絵様のお祝いをしました。

スフレチーズケーキは、お昼ご飯の時に美味しく頂きました。誕生日会の出し物は、クリスマスの飾り付けをしました。利用者さんが好きな飾りを選んでクリスマスツリーにペタペタと張ってくれました。とっても可愛い小さなツリーが完成☆来月のクリスマス会に飾りたいと思います。クリスマス会には、1病棟の利用者さん全員で集まることを願っています。

(1病棟生活支援員 飯田 暢子委員)



9月18日に季節の行事として2病棟花火大会を開催予定でしたが、残念ながら台風14号接近の影響で中止となってしまいました。

せっかく予定していた行事の日なのでその代わりに「みんなで綿菓子を作って食べよう!」ということで東棟・西棟に分かれて実施しました。利用者さんは目の前で作られる綿菓子に興味津々でジーッと見つめて不思議そうな表情をしていましたが、それを口に入れると甘くておいしくす〜と溶けていく感じにたちまち笑顔になっていました。

今年はもう花火大会はできませんが、来年は絶対にできることを祈念したいと思います。

(2病棟看護助手 中澤 直子委員)



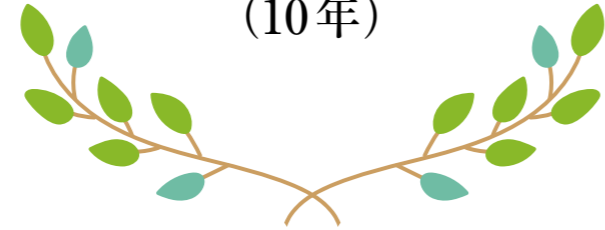
2  
病棟



## 令和4年度 永年勤続者表彰者挨拶 (10年)



左から、沖、久保内、谷本



2011年に入職し、今年で12年目を迎えました。私は就職氷河期時代、大学新卒の就職率が最低だった世代です。さらに、全日制高校を3ヶ月で退学し、22歳で定時制高校を卒業しました。30歳まで交通誘導や日雇いの土木と週末の夜はバーテンのアルバイトをやりながら、途中、保育士の資格を何とか取得しました。振り返れば、そんな私が今では2病棟の大野健一様と一緒に担当していた看護師と結婚し、家を建て、庭で遊んで楽しく暮らせています。自分が幸せになれた分、少しでも利用者の皆さんに還元できるように頑張っています。

1病棟生活支援員 沖 大輔

入職してきて早10年が経ちました。実習以外でのほぼはじめて介護社会で働くこと、慣れないことばかりで経験不足、技術不足による怖さもあり、苦戦している私に対し、先輩の皆さんは温かく丁寧に繰り返しご指導してくださいました。今でも介助をさせてもらうときは緊張感がありますし常に心掛けるようにしています。ここ数年では新しい資格を取得するなど、自分なりではありますが、学ぶ心は常に持ち続け、これからも努めていきたいと思っています。利用者さんの持つ潤沢なパワーや笑顔や言葉、先輩方や後輩、沢山の皆さんに支えていただいています。これからもよろしくお願ひいたします。

2病棟生活支援員 久保内 怜

まず冒頭で、土佐希望の家にはこんな私を拾ってもらったという感謝があります。家族も持つことができ、いろんな思い出も作ることができています。本当にありがとうございます。さて、私はたまに本を読みますが、年代ごとに何度も読み返す本に出会います。10代は「もの喰う人々」(辺見庸)、20代は「金閣寺」(三島由紀夫)、そして30代は「落合博満嫌われた監督」(鈴木忠平)です。この本は落合氏が中ドラゴンズの監督をしていた時の出来事(2007年日本シリーズ第5線で岩瀬を何故登板させたのか等)をルポ形式で記者と選手本人の視点を交えて記しています。冷静に見える采配等のため世間的にはとっつきにくい印象の落合氏ですが、その冷静な判断力と人として何があるかが「凛として生きる」という姿勢はさすがというしかありません。

この10年間本当に色々なことがありました。またこれからの10年も楽しいながらも時には迷うこともあり不安もあるでしょうが「凛として生きる」。これを目標に頑張っていこうと思います。よろしくお願ひします。

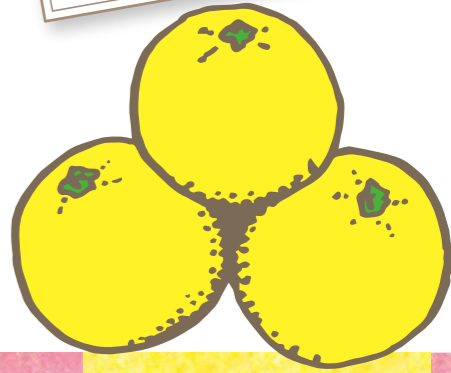
通所生活支援員 谷本 大祐

## 高知大道芸フェス2022がやってきた!

9月30日 三雲いおりさんと張海輪中国雑技団の皆さんが希望の家に来てくださいました。



## 厨房だより 高知の旬 土佐文旦



土佐文旦は、通常、自然なままの路地栽培されているものを指します。皮がやや厚めで、果肉はしつかりとしまっていて、爽やかな甘みがあります。ビタミンCはみかんの1.4倍。疲労改善に役立つビタミンB群も多く含まれています。

### 希望の家 文旦レシピ 文旦の酢物 (1人分)

- キャベツ 50g
- 文旦 20g
- しらす 5g
- ごま 1g
- 砂糖 2g
- うすくち醤油 2g
- 酢 3g

しらすの塩分により、文旦の酸っぱさと甘味が引き立つ酢物です。



ちなみに2月13日は「土佐文旦の日」。2月は土佐文旦の一番の旬の時期で、13で「とさ」という語呂合わせから2月13日が選ばれたそうです。

## わたしの仕事

薬局・薬剤師  
主任 山本 五十鈴



私の仕事は薬剤師です。10年位勤めているような大きな態度でいますが、土佐希望の家に転職して、3年目になります。薬剤師になって23年間、薬局や病院で働いてきましたが、こちらのような施設で働くのは初めてです。始めは今までと勝手が違い、戸惑いでしたが、2年たつてようやく希望の家での仕事を含むいろいろな事が分かってきたように思います。

薬剤師はほとんどの時間薬局に籠っていますので、何をしてるか見えにくいですよね。ご想像の通り調剤・監査、ひたすらその繰り返しです(笑) 病棟医の先生から定期処方方の入力がある、そこから勝負の1週間が始まります。処方箋の印刷、分包機への入力、調剤↓監査↓服用時点をまとめて止める、最終確認、こまめを1週間で行って病棟に払い出します。これが私たちのメインの仕事です。この合間に、臨時薬の調剤・監査、外来院内処方方の調剤・監査、外来処方箋の疑義照会などが入ってきます。

大雑把な性格の上に、なかなかポンコツな私ですので、正確に、間違えないように(当たり前・・・)慎重に仕事をしています。落ち着きの実が売ってないか、あなあって探しているのですが見つからないので、そろそろ年相応に落ち着き、皆さんにご迷惑をかけないように精進しなさいと思っています。温かい、長い目で見ていただけると幸いです。

少し文字数が足りないようなので・・・私の趣味はテニスです。と、言い切るには下手すぎますが。夜に週3回、6年くらい続けています。続けていく事だけが自慢で、全く上達が見られませんので、試合を申し込まれると困ります。終業チンでいそいそ帰っているのも(仕事は終わらせてますよ?笑)ランナーみたいな服に着替えて帰っているのもテニスがあるからです。こちらも温かい目で見ていただけると幸いです。